

歌麿が、北斎が、師宣が。

絢爛・華麗な美の奔流。逞しい人間贊歌。

江戸文化の秘部を極彩色に染め上げた

艶本研究50年の集大成。

完結!

美林 江戸艶本集成

〔全十三巻
+ 総目録〕

監修：中野三敏・小林忠

未公開資料多数！



祐信

河出書房新社

海外でも評価の高い江戸艶本・浮世絵学の決定版！

魅る江戸人の笑、

ロード・キヤンベル（米国学者）

「江戸艶本の世界」
「浮世絵（艶本）の全貌を網羅

「これまでうかがい知ることができなかつた、江戸人の風俗生態に迫る」

「これまでうかがい知ことができなかつた、江戸人の風俗生態に迫る」

「これまでうかがい知ことができなかつた、江戸人の風俗生態に迫る」

「アカデミズムにおける時代考証の盲点を力バーカー！」

「世界に誇る斯界の権威が、これまで掘り下げられなかつた席のあり方や性生活の背後にあらわした江戸人の深層意識を解明する。」



林美一（はやし・よしかず）
一九二二年生まれ、一九九九年没、大阪生まれ。
大映京都の宣伝部員を経て、一九六〇年、江戸文化研究、歴史の研究者、時代考証家として独立。著書多數。

「人前に出されぬ！」と最後ながら妻を閉じられ、部の愛好家の間でのみ熱心に玩ばれていた江戸の艶本。資料としての価値をいち早く見抜き、筆耕に走りながら研究の新領域を開いたのは林美一の本人である。江戸人の温かな笑い声と、秘蔵に一生を賜けた氏のピュアな心意気が伝わってくる。

刺激的で魅惑に満ちている

高橋克彦（著者）



林さんの研究に立ち、それまで作品ばかりで名のみ伝えられてきた多くの絵巻などの般闈がくつきりと浮かび上がり、熱い命を吹き込まれた。切る遊びを私は林さんの著作によつてはじめて体験する。浮世絵を取り巻く世界はなんと刺激的で魅惑に満ちていることか。その興奮は今も失われていない。林さんのやり方がいかに先駆的で正しかったかといふことだ。



「艶本研究」だけが手がかり 上野千鶴子（著者）

春画・春本研究を30年前に志したとき、助けになるものが何もなかつた。なにしろ実体仮名が説めなかつた。わずかに林美一さんの「艶本研究」だけが手がかりだった。古書店で探し出してを巻購入した。それがかんたんに手に入る。くやしい。

（体積）A5判
上巻カバー1カバーリング
平均380頁
カラーペーパー16頁
年表／索引

◆第一巻～第三巻 各本体8,800円(税別)
◆総目録 本体13,000円(税別)
◆全巻揃本体 127,400円(税別)

Tel. 03-5350-5101 FAX 03-5350-5008

河出書房新社

お申し込み書 河出書房新社特約店

ご注文数

林美一【江戸艶本集成】
《全13巻+総目録》 監修:中野三敏・小林忠

◆全巻揃本体127,400円(税別)

セットISBN978-4-309-71275-8

セット

ご芳名

お電話番号

ご住所